

日本家系図学会 平成22年度総会の報告

- 1 日時：平成22年11月6日（土）午後3時～5時
場所：東京都港区南麻布
- 2 議事内容 出席者20名、委任状を含む参加者人数は90名、ほかに傍聴者
開会宣言 岸副会長兼事務局長
会長挨拶の後に、議事に入る。
 - (1)経過報告及び議案 会長による議事運営
 - ア 最近までの動向
楡井旧会副会長兼事務局長のご逝去 本年1月頃
会誌発行 今年第3号を出し、いま第4号の準備中で近々発行。
役員会開催 本年9月
 - イ 会則の変更 予算・決算の承認を役員会事項にする改正（第13条の一部）について承認。
 - ウ 役員関係 今回は新たな選任はなし。退任は、林正啓氏が本年秋の役員会の前に、その後、役員会の後に安原副会長から退任の連絡があった。
 - エ 今後の事業計画
会誌発行
インターネットによる広報・活動説明 岩本理事の尽力
他会との活動提携 関西の家系研究協議会など
 - (2)経理審議 21年度決算、22年度実行見込み、23年度予算関係の審議
……当面赤字が続くが、中長期的に解消を目指すという説明があり、承認。
増収策や総会報告の内容（資産・負債関係）についての提案があった。
- 3 講演 講師：山岡三子（やまおか・みつこ）さん
テーマ：「現代社会におけるネットワーク学的視座：先祖観の変容を通して」
現代社会との関連性の中で、日本人の先祖観の変容を見ていくということで、具体的な年齢層別の意識変化の例、墓制変化の実例などが映像表示で説明された。
興味深い発表内容であり、それに応じて活発な質疑応答があった。
- 4 総会後の懇親会 総会終了後に、場所を変えてテラス・モルチエで開催。

(以上)